

向こう1年の活動方針及び新体制を決定! 第25回本社総支部定期大会を開催

**「働き方の改革」を組合員一人ひとりが「自分ゴト」として捉え
積極的な問題提起と考動により、働きがい向上と真に魅力ある職場を構築しよう!**

8月27日(日)に北梅田研修センターに於いて第25回JR西労組本社総支部定期大会が開催され、この1年間の活動経過報告が行われるとともに、向こう1年間の運動方針が満場一致で採択された。本大会には執行部、代議員、傍聴者、来賓を合わせ約110名が参加した。冒頭、栢田副委員長が、先日発生した、本社でも一緒に仕事をした仲間が、自らの命を絶った非常に悲しい事象に触れ、ご冥福をお祈りするとともに、福知山線列車事故ならびに、これまでの鉄道事故でお亡くなりになられた御霊に対し、出席者一同で黙祷を捧げた。

定期大会の開会に際し早稲田執行委員長から、安全、働き方改革(業務変革)、組織課題について課題提起があり、本社総支部に集う一人ひとりが、後輩や家族が今よりも幸せに暮らせる社会や会社を構築するためにも、様々な課題に対して目を背け「他人ゴト」とせず、「自分ゴト」として捉え、積極的に組合活動を展開していこうと力強い挨拶があった。

また、来年開催される記念すべき節目の第30回定期中央本部大会の準備地本を、初めて本社総支部が実施することに触れ、本社総支部に集う22分会の総力を結集し、大会成功に向けての協力要請があった。

続いて、働く者の立場にたつて様々な政策実現に向けて奮闘し、元国土交通副大臣として東日本大震災の際には、カーボンブラシ問題解決に向けてご尽力頂いた、民進党大阪4区総支部長の吉田おさむ元衆議院議員、また本社総支部とも関わりが深く、大谷町社宅もある西宮市を活動拠点として魅力ある地域づくりにご貢献頂いている栗山雅史兵庫県議会議員、組合員福祉である共済活動等で日頃お世話になっている交運共済西日本事業本部、近畿労金、明治安田生命、中央本部の上村書記長をはじめとする多くのご来賓の皆様方からご挨拶を賜った。

議長団には、総務系統分会の菊池代議員と大阪電気工事事務所分会の西谷代議員が選出された。

質疑では、働き方改革に関する実態や課題、大規模プロジェクトを抱えている工事事務所の要員課題、大阪鉄道病院における諸課題、ネクストステップを経ないL登用に際する東京指令所で働く組合員の生の声、子育てをしながら働き続けられるための更なる制度の充実化など、過去最高の17名の代議員が発言し、執行部並びに中央本部に対して、これらの課題解決に向けた対応を訴えた。

また、本社総支部執行部の改選が行わ

れ、残すところ任期1年の早稲田委員長が再選され、3年目に突入した蒲書記長を専従とした。

長年に渡って、本社総支部を支えて頂いたJNR世代の明渡副委員長が勇退し、新たに新幹線協議会等でJR西労組運動をけん引してきたJR世代の栢田副委員長が選出され、本社総支部における次代への継承も新たな幕開けとなり、再任された早稲田委員長、蒲書記長を専従とする27名の新体制が確立された。

大会の最後には、向こう1年間の運動方



熱心な議論をした大会会場

針を確認するとともに、大会宣言を満場一致で採択し、早稲田委員長の団結ガンバローにより第25回JR西労組本社総支部定期大会を閉会した。



総括答弁を行う蒲書記長

質疑応答概要

働きがい、働きやすさの更なる充実を!



技術開発部分会 荻野雄士代議員

勤務の多様性を更に充実させる為に、フレックスタイム制における半休取得、短日数勤務のフレックス拡大を要望する。

現在、テレワークを試行しているが、より使いやすい制度として本施行するために、インフラ強化やサーバー、メールボックスの容量制限アップなども検討して欲しい。

本社で働く社員の一部には、業務上夜勤がある場合もあることから、シャワー室、仮眠室など夜勤への対応が可能な休憩スペースを設けて欲しい。

◆答弁

様々な場面で会社と議論していきたい。

労働時間管理の厳正について



創造本部分会 岡本直樹代議員

創造本部の一部のグループで、労働時間管理が正しく行われていないのではないかと疑われる事象が発生した。

また、一社員に対する業務過多による特休・公休を最大限勤務しなければ、業務が回らない状況もあった。引き続き分会としても意見交換等を行い、情報共有を図るので、総支部も業務量削減、適正な要員配置について会社と議論頂きたい。

創造本部では、ここ最近、中途採用の社員が増えてきているが、専門社員から社員登用される時点で、会社のメールアドレスが変更となり、クライアント等とトラブルが発生するなど問題となっている。以前もこのような事象が発生した際は、総支部を通じて会社に伝えたと、メールアドレスは継続ができたが、また基に戻ってしまった。早急に対応願いたい。

◆答弁

総支部でも創造本部の一部のグループや、社員に業務が偏っている事実も把握しており、分会と意見交換を行い、直ちに会社に対して改善を口頭で申し上げている。引き続き総支部として注意深く見守っていきいたい。

中途採用社員の社員登用時のメールアドレス継続については、会社に確認する。(H29.8~メールアドレスを継続できるようにシステム改修を行ったとIT本部から連絡あり)